

令和元年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

山形県

行事名称	旧済生館本館（山形市郷土館）消防訓練・立入検査（文化財防火デー）
実施期間・日時	令和2年1月24日（金） 9:15～11:00
実施場所	国指定重要文化財 旧済生館本館（山形市郷土館 山形市霞城町1-1）
主催者	山形市教育委員会・山形市西消防署

■実施内容

訓練の想定

開館時間中に自動火災報知機が作動し、事務室で執務中の郷土館職員が確認したところ、旧済生館本館1階北東の第6室内において火災が発生していたという状況を想定。

訓練の内容

総合消防訓練として、郷土館職員による火災発見、通報、初期消火（消火器・屋内消火栓による模擬消火）、重要用品（模擬）の搬出、入館者の避難誘導を実施した。消防訓練後、消火器使用訓練（消防署員による使用方法説明）及び消防車による放水訓練を実施した。

参加者及び役割分担

山形市郷土館職員	（4名）：火災発見、通報、初期消火、重要物品の搬出、入館者の避難誘導
山形市消防本部予防課職員	（2名）：全体統括、立入検査
山形市西消防署署員	（4名）：全体統括、消火器訓練指導、放水訓練実施、立入検査
山形警備保障株式会社警備員	（1名）：現場立会（夜間等警備委託業者）
太平ビルサービス株式会社社員	（2名）：火災報知設備操作、現場立会（消防設備点検委託業者）
山形市教育委員会社会教育青少年課職員	（4名）：全体調整、記録、その他

特に工夫した点

例年同様、消防署による立入検査を同時に実施し、消防署員による指導助言及び放水訓練を訓練内容に組み込んでいる。

問題点・課題

勤務体制により、職員全員で対応できない場合があるため、郷土館職員全員が非常時の対応について熟知し、実施することができるよう訓練を重ねる必要がある。

その他

例年、文化財防火デーに合わせて消防訓練を実施することで、自衛防災組織の編成及び役割分担を再確認するとともに、火災からの入館者の人命救助及び旧済生館本館のより一層の防火意識の向上を図っている。

旧済生館本館では、1月の総合訓練のほか、5月及び10月に総合訓練を実施している。

訓練風景



消火器使用訓練



放水訓練